



住江織物株式会社

# 2013年5月期第2四半期 決算概況

ECOSシリーズ iD4500



- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2013年5月期第2四半期(2012/6～2012/11)連結業績
- 5 連結業績の事業セグメント別内訳
- 6 インテリア事業
- 7 自動車・車両内装事業
- 9 機能資材事業
- 10 連結B/S 連結C/F
- 11 連結業績の推移
- 12 2013年5月期見通し
- 14 株主配当について
- 15 中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”
- 18 海外事業の拡大
- 20 「ECOS」が「エコマークアワード2012」銅賞を受賞
- 21 「ECOS」が米国「Green Label Plus」を取得
- 22 京都美術工芸所 ー伝統技術の継承ー

## ●Profit and Loss Statement

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	39,163	36,223	8.1%	2,940	40,300	△2.8%	△1,136
営業利益	923	172	435.7%	751	760	21.5%	163
営業利益率	2.4%	0.5%			1.9%		
経常利益	1,087	241	350.7%	846	930	16.9%	157
経常利益率	2.8%	0.7%			2.3%		
当期純利益	625	△157	—	782	650	△3.8%	△24
当期純利益率	1.6%	—			1.6%		

連結売上高は**391**億63百万円

(前年同期比29億40百万円増、期初計画比11億36百万円減)

連結営業利益は**9**億23百万円

(前年同期比7億51百万円増、期初計画比1億63百万円増)

## ■連結売上高

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や政府の政策効果によって緩やかな回復が続いたものの、欧州債務問題による世界経済の減速や日中間の経済の冷え込みが見られた。そのようななか、インテリア事業では、循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」を含む業務用カーペットとカーテンが好調に推移し、自動車内装事業では米国とタイの子会社が大きく業績を伸ばし、全グループで前年同期比29億40百万円の増収となった。

## ■連結経常利益

持分法による投資損失24百万円があったが、営業利益が前年同期比で大幅に伸びたため、経常利益は前年同期比8億46百万円の10億87百万円となった。

## ■連結当期純利益

税金等調整前当期純利益11億59百万円に対し、法人税、住民税及び事業税2億84百万円、法人税調整額79百万円、少数株主損益1億70百万円を計上したことにより、当期純利益は前期比7億82百万円増の6億25百万円となった。

# 連結業績の事業セグメント別内訳 (単位:百万円)

## ●Segment Information

		当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
連結売上高	インテリア	16,490	16,344	0.9%	146
	自動車・車両内装	20,012	17,168	16.6%	2,844
	機能資材	2,611	2,651	△1.5%	△39
	その他	47	58	△18.4%	△10
	セグメント合計	39,163	36,223	8.1%	2,940

		当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
営業利益	インテリア	146	△3	-	150
	自動車・車両内装	1,205	561	114.6%	643
	機能資材	198	189	4.7%	8
	その他	17	20	△12.5%	△2
	調整額	△643	△594	-	△48
	セグメント合計	923	172	435.7%	751

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

連結売上高 **164**億90百万円

(前年同期 163億44百万円)

連結営業利益 **1**億46百万円

(前年同期 **△3**百万円)

■前年同期比1億46百万円増収、1億50百万円増益

(オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット)

発売2年目の循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」が順調に伸び、また、大型物件の受注等があったため売上高は前年同期を上回った。

(一般家庭向けカーペット、ラグマット)

緩やかに物価が下落するなか個人消費が伸び悩んだこと、また、残暑が続いたことも影響したため、売上高は前年同期を下回った。

(カーテン)

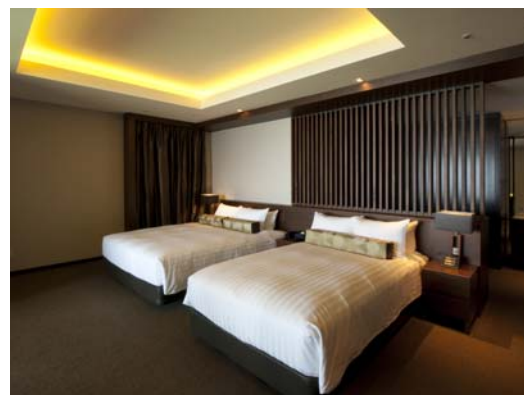
主力の「U-Life」に加え、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に推移し、売上高は前年同期を上回った。

(壁紙類)

「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」がともに厳しい状況となり、前年同期を下回った。



ECOSシリーズ iD4500



PVC Design Award特別賞を受賞した  
空気を洗う壁紙®CRAFT LINE

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

連結売上高 **200**億12百万円

(前年同期 171億68百万円)

連結営業利益 **12**億5百万円

(前年同期 5億61百万円)



日産リーフ  
帝人製「PLANTPET®」を100%使用した  
環境対応型ファブリック(全グレードに採用)

■前年同期比28億44百万円増収、6億43百万円増益

カーペット事業、ファブリック事業ともにグローバル化の効果が大きく、増収増益となった。

(カーペット事業)

国内 前半は好調に推移したものの、後半はエコカー補助金の終了や中国向けの輸出が減少したことが影響し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回った。

海外(米国、タイ、中国) 売上高、営業利益ともに前年同期を大幅に上回った。

(ファブリック事業)

国内 カーペット事業と同様の傾向にあり、売上高は前年同期を下回ったが、原価改善活動等が奏功し、営業利益は前年同期を上回った。

海外(米国、タイ、中国) 日系自動車メーカーの生産増加を受け、売上高、営業利益ともに前年同期を大幅に上回った。

## 鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、 リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

鉄道・バス共に新車物件は厳しい状況が続いたが、大手私鉄関係を中心としたリニューアル物件や、オレフィンフィルム等の新規商材の拡販により、売上高は前年同期を上回った。また、営業利益も、営業活動の効率化により、前年同期を上回った。



近畿日本鉄道 特急伊勢志摩ライナー  
(デラックスカー・サロンカー・レギュラーカー)  
シート表皮材(モケット・織物)、  
タイルカーペット、カーテンを納入



高速乗合バス「ドリームスリーパー」  
シート表皮材、カーペット、  
カーテン、枕カバーを納入



ホットカーペット、タイルカーペットOEM販売と  
独自消臭加工技術によるフィルター等を展開

連結売上高 **26** 億11百万円

(前年同期 26億51百万円)

連結営業利益 **1** 億98百万円

(前年同期 1億89百万円)

■前年同期比39百万円減収、8百万円増益

(ホットカーペット)

引き続き好調を維持し、売上高は増加した。

(タイルカーペットのOEM販売)

輸出向けは売上高を伸ばしたが、国内向けは低調であったことから売上高は微減した。

(消臭関連)

空気清浄機や冷蔵庫用等の家電メーカー向け消臭フィルターが順調に売上高を伸ばし、一般家庭向け置き型消臭商品「香りでごまかさない 本当の消臭」も健闘した。

(その他)

土木関連資材やペットボトルリサイクル繊維「スミロン®」の販売は低迷した。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」

Balance Sheet	当第2四半期	前期末
<b>総資産</b>	<b>75,884</b>	76,663
現預金	5,171	7,112
売上債権	21,359	20,442
たな卸資産	11,603	11,246
その他の流動資産	3,948	4,526
有・無形固定資産	26,894	26,772
投資その他の資産	6,907	6,563
<b>総負債</b>	<b>46,169</b>	47,614
仕入債務	15,679	16,901
短期借入金	10,828	11,086
その他流動負債	3,856	3,465
長期借入金	4,757	5,347
その他固定負債	11,047	10,813
<b>純資産</b>	<b>29,714</b>	29,049
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,582	7,146
自己株式	△330	△330
有価証券評価差額金	237	△22
土地再評価差額金	7,867	7,867
その他評価・換算差額	△791	△636
少数株主持分	2,942	2,817

【貸借対照表】

**総資産** 現預金の減少等により、前期末比7億79百万円減の758億84百万円となった。

**負債** 仕入債務の減少等により、前期末比14億44百万円減の461億69百万円となった。

**純資産** 利益剰余金の増加等により、前期末比6億65百万円増の297億14百万円となった。

【キャッシュ・フロー】

(営業活動CF) 売上債権の増加10億26百万円と仕入債務の減少11億28百万円による資金減に加え、たな卸資産の増加4億67百万円等により△1億47百万円の支出となった。

(投資活動CF) タイ、米国、インド等での固定資産取得の資金支出等から△9億79百万円の支出となった。

Statement of Cash Flows	当第2四半期	前年同期
営業活動によるC/F	△147	△1,925
投資活動によるC/F	△979	△1,067
財務活動によるC/F	△776	78
換算レート変動の影響	△37	△63
期中の増減額	△1,940	△2,978
期首の現金残高	6,892	7,827
期末の現金残高	4,951	4,849

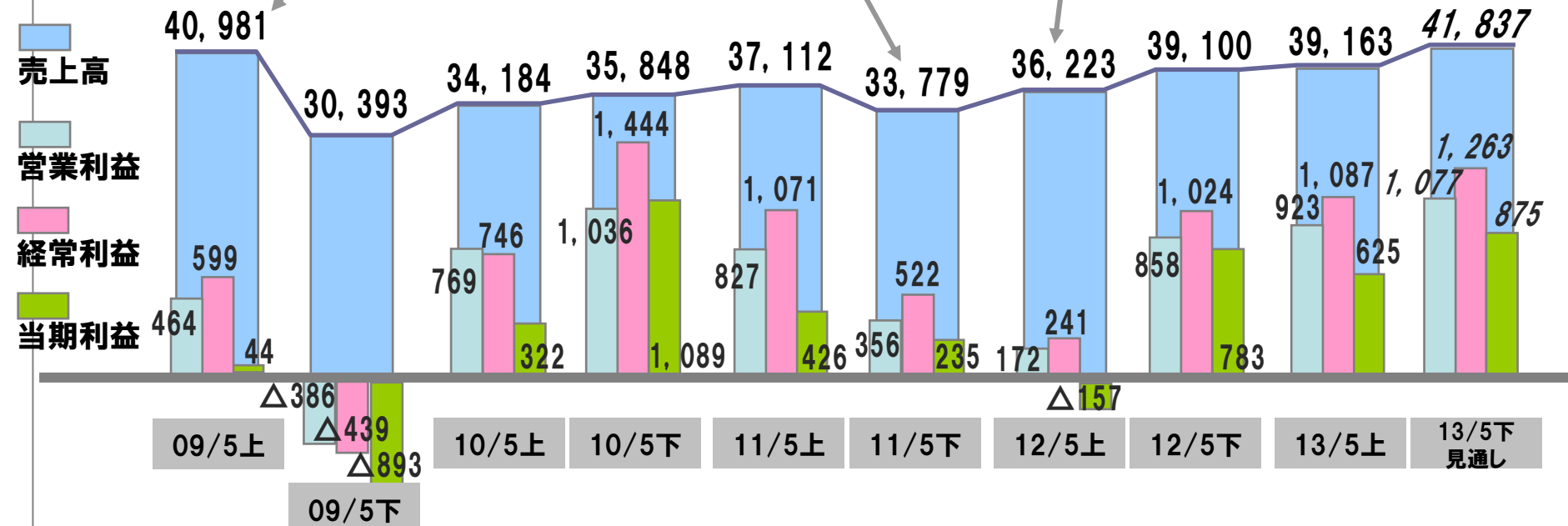
# 連結業績の推移 (単位:百万円)

## 半期別推移

2008年9月 リーマンショック発生

2011年10月 タイ洪水発生

2011年3月 東日本大震災発生



	第120期(2009年5月)			第121期(2010年5月)			第122期(2011年5月)			第123期(2012年5月)			第124期(2013年5月)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期見通し	通期見通し
売上高	40,981	30,393	71,374	34,184	35,848	70,033	37,112	33,779	70,891	36,223	39,100	75,324	39,163	41,837	81,000
営業利益	464	△386	78	769	1,036	1,806	827	356	1,184	172	858	1,031	923	1,077	2,000
経常利益	599	△439	160	746	1,444	2,191	1,071	522	1,594	241	1,024	1,265	1,087	1,263	2,350
当期利益	44	△893	△849	322	1,089	1,412	426	235	662	△157	783	626	625	875	1,500

期初計画から変更無し

売上高 **810** 億円

(2012年5月期 753億24百万円)

営業利益 **20** 億円

( " 10億31百万円)

経常利益 **23.5** 億円

( " 12億65百万円)

当期純利益 **15** 億円

( " 6億26百万円)

		2013年5月期 見通し	前期	前期比 (%)	前期比 (額)
売上高	インテリア	34,600	33,746	2.5%	854
	自動車・車両内装	42,200	37,558	12.4%	4,642
	機能資材	4,100	3,910	4.9%	190
	その他	100	108	△7.4%	△8
	セグメント合計	81,000	75,325	7.5%	5,675

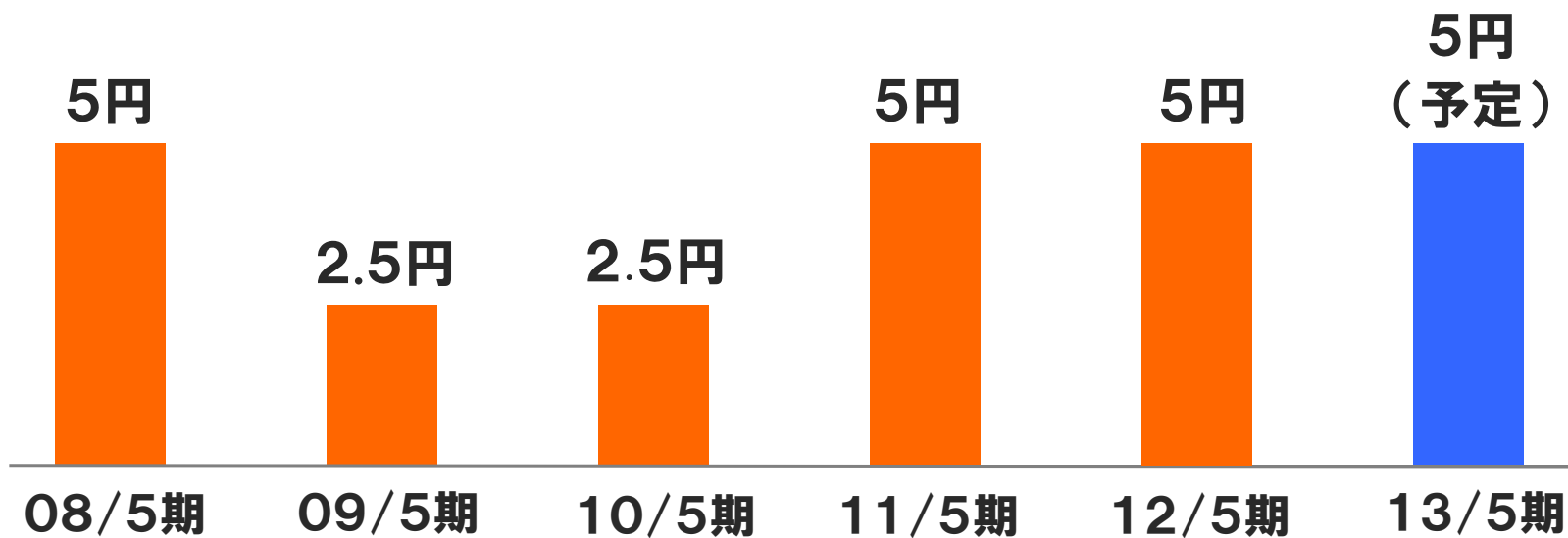
		2013年5月期 見通し	前期	前期比 (%)	前期比 (額)
営業利益	インテリア	410	297	38.0%	113
	自動車・車両内装	2,700	1,802	49.8%	898
	機能資材	100	75	—	25
	その他	40	35	14.3%	5
	調整額	△1,250	△1,179	—	△71
	セグメント合計	2,000	1,031	94.0%	969

**■2013年5月期見通し**  
 中国子会社の業績下振れ懸念はあるものの、米国STAやタイトCHSといった海外子会社は底堅く推移することが見込まれる。以上のような状況を踏まえ、平成25年5月期見通しは、全社業績およびセグメント別業績ともに期初計画のままとする。

## ■2013年5月期について

- ・2013年5月期は、中間・期末ともに2円50銭、年間で5円の配当を予定しております。

## ■配当額の推移



## 2012年6月より中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”をスタート

### 連結数値目標

#### 3ヵ年の目標

- 売上高は100億円の増収
- 営業利益率3%以上

#### 中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROA(総資産経常利益率)6%以上

単位:百万円

		中期3ヵ年経営計画 “Global Evolution 2015”							
		2012年5月期実績		2013年5月期		2014年5月期		2015年5月期	
売上高	売上高成長率	75,324	106.3%	81,000	107.5%	83,000	102.5%	85,000	102.4%
営業利益	営業利益率	1,031	1.4%	2,000	2.5%	2,630	3.2%	2,920	3.4%
経常利益		1,265		2,350		2,980		3,290	
当期純利益		626		1,500		2,000		2,200	
ROE(自己資本当期純利益率)		2.4%		5.6%		7.2%		7.6%	
ROA(総資産経常利益率)		1.7%		3.1%		3.8%		4.2%	

## セグメント別収支計画

単位：百万円

売上高	インテリア事業	自動車・車両 内装事業	機能資材事業	その他	調整額	合計
2012年5月期	33,746	37,558	3,910	108	—	75,324
2013年5月期	34,600	42,200	4,100	100	—	81,000
2014年5月期	35,000	43,400	4,500	100	—	83,000
2015年5月期	35,600	44,500	4,800	100	—	85,000

営業利益	インテリア事業	自動車・車両 内装事業	機能資材事業	その他	調整額	合計
2012年5月期	297	1,802	75	35	△1,179	1,031
2013年5月期	410	2,700	100	40	△1,250	2,000
2014年5月期	530	3,140	120	40	△1,200	2,630
2015年5月期	640	3,260	180	40	△1,200	2,920



**基本方針**

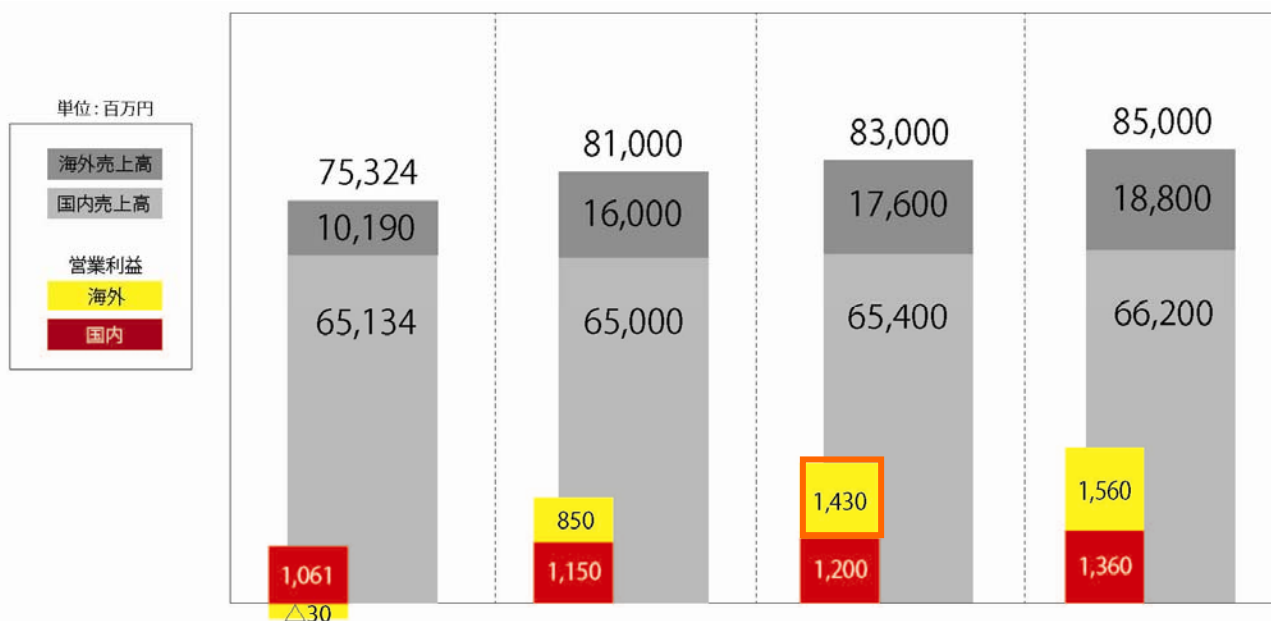
**海外展開を中心としたグローバル戦略**

**循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」を  
始めとするオンリーワン商品の積極的な展開**

**市場シェアの拡大と利益率の向上を目指す**

## 収支計画

自動車内装材事業を中心に海外比率を高め、グローバル経営を進めます。2年目の2014年5月期には、海外事業の拡大に伴い、海外の営業利益が国内を逆転する見込みです。



	2012年5月期実績	2013年5月期計画	2014年5月期計画	2015年5月期計画
売上高	75,324	81,000	83,000	85,000
海外売上高 (地域別内訳)	10,190 北米 : 5,126 アジア他 : 5,064	16,000 北米 : 8,400 アジア他 : 7,600	17,600 北米 : 8,600 アジア他 : 9,000	18,800 北米 : 8,800 アジア他 : 10,000
海外売上高比率	14%	20%	21%	22%

## グローバルマップ

自動車内装事業を中心に、現在、海外子会社の従事者は900名を越え、当社グループ全体の約40%を占めるまでになっております。今後もグローバルサプライヤーとしての事業基盤の確立と、それらを支える人材の育成に取り組んでまいります。





## 循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」が、「エコマークアワード2012」の銅賞を受賞しました。

●エコマークアワードは、「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与した企業・団体等に贈られる賞で、当社の「ECOS」シリーズの開発と普及への取り組みが評価され、受賞となりました。



### ● エコス ECOS

使用済みタイルカーペットを市場から回収し、裏面の材料として再生する独自の循環モデルを構築、表面のパイル糸もペットボトル再生糸「スミトン®」を使用することで、最大77%(重量比)の再生材料比率を達成しています。

2012年5月には、新基準のエコマークで、認定第一号となりました。

再生材料比率 最大77%(重量比)

CO2削減率 最大43%(当社従来品比)

「ECOS」を含む当社タイルカーペットが、ホルムアルデヒド等の揮発性物質に対する厳格な基準である米国「Green Label Plus」を認証取得

ビルの環境負荷の米国評価基準「LEED(Leadership in Energy & Environmental Design)」の加点対象に



認証マーク

●グリーンラベルプラスを取得した当社のタイルカーペットを使用することで、ビルの環境性能の評価基準「LEED(Leadership in Energy & Environmental Design)」のポイントが取得でき、環境負荷の軽減が図れます。

「LEED(Leadership in Energy & Environmental Design)」  
米国グリーンビル協議会が制定したビルの環境性能を評価するプログラムです。環境への意識の高まりから、米国のみならず日本を含む世界各国でグリーンビルディングの取り組みが進んでおります。

「ECOS」は国内のみならず世界的にもトップクラスのエコ商品として高い評価を得ており、当社のコア商品に成長しております。

## ■ 京都美術工芸所

平安時代中期以後に、京都織部町で繁栄を見せた大舎人座の織匠31家の一家である蓮池平右衛門の流れを汲み、明治、大正時代の西陣の名匠であった喜多川平八氏の工場が前身で、昭和23年（1948年）より当社がその事業を受け継ぎました。



現在では、衆参両院など日本を代表する格式高い建造物の内装、著名な劇場ホールの緞帳、学校関連の校旗等を製造販売しております。

## ■ 神宮式年遷宮の<sup>きれじ</sup>裂地調製

本年秋、伊勢神宮で行われる第62回神宮式年遷宮で、当社はその御装束神宝製作に使用される裂地調製のご下命を受け、手織職人によって錦・唐錦(からにしき)など3,749尺 (1,136m)を織りあげました。



前身工場で第56回(明治22年)から第58回(昭和4年)まで、当社工場で第59回(昭和28年)より今回の第62回(平成25年)まで、通算7度にわたり御装束神宝に用いられる織物を調製しております。1300年間受け継がれてきた美術工芸織物の手織り技術を継承し、伝統文化の保存に努めております。